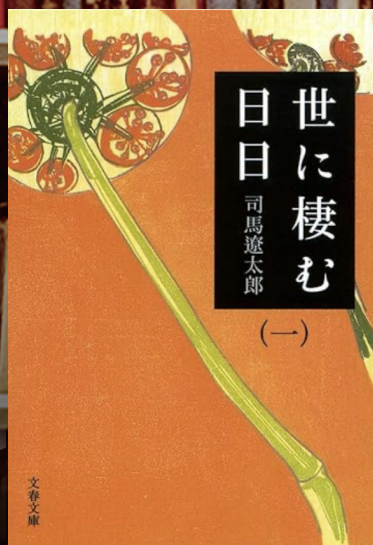


佐藤 芳直

夜嘯

vol.
04

司馬遼太郎に問う
－全6回－



2025年6月2日 月
17:00 START
場所／東京駅近郊



司馬遼太郎に問う

昔読んだ本は記憶に通り、今更なかなか紐解く気持ちにはなれないものです。本においている内容は変わらない、しかし、我々は情緒も情感も豊かになったかも知れない。

そして何よりも時代背景が大きく変わった。

今の視座でどう読み解いていくのか・・・

皆さんと本を通して会話を増やしていきたいという思いから

「第4期佐藤芳直・夜嘯」を始めます

第4期 夜嘯(全6回)

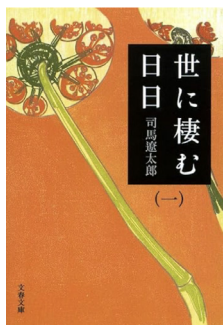
日程 17時開始～

世に棲む日日

第1回…2025年 6月2日(月)

第2回…………… 7月25日(金)

第3回…………… 9月17日(水)



新装版 世に棲む日日 (一)
(文春文庫)

『世に棲む日日』は、松陰先生とその一番弟子である高杉晋作の交友を描いたものです。この時代、この師弟関係の中で何が生まれたのか。そのことを知ることはとても大切な事だと思えます。また、何故晋作は松陰先生の言葉を自分の生きる指針としたのか。そのプロセスは、まさに愛情と気概の物語でもあります。師弟が歩んだ道、そして松陰先生が築き上げてきた言葉を皆さまで振り返り、そして晋作のような一番弟子と言える社員を育てていくためにどうすべきか。そんなことを考えながら、『世に棲む日日』を通してこの時代の旅をできたらと思っています。

国盗り物語

第4回…………… 10月22日(水)

第5回…………… 12月1日(月)

第6回…2026年 3月5日(木)



国盗り物語(一) (新潮文庫)

『国盗り物語』は、2つの章にわかれます。第1章は、斎藤道三が如何にして国主になっていくかというプロセス。第2章は、その娘婿である織田信長が如何にして天下人への道を駆け上がっていったのか。この2つの物語が見事に交差しているのが『国盗り物語』です。この時代はまさに、危機動乱の時代。その時代において、道三は何故一介の油売りから国主になれたのか。そしてその義父の姿を見ながら信長は何故天下布武の道を歩もうと心に定め、それを実践できたのか。まさに、そこにその時代を生きる最大のヒントが隠されていると思います。2つの物語を紐解きながら、学び多き時間にしましょう。

詳細

●勉強会:17時～18時半

●懇談会:18時半～20時(会費別:18,000円-20,000円／毎回)

懇談会では、佐藤に作品についての質問・感想など自由にいただけます。

●場 所:東京駅近郊 or 銀座

※出席・欠席に関わらず、当日の音源はお渡しいたします。何度でもお楽しみください。

<キャンセル>

申込み後のキャンセルのお申し出がある場合、2025年5月23日以降のご連絡は、ご参加費用の100%をキャンセル料として申し受けますので予めご了承下さい。

会費

全6回 勉強会費:156,000円

(人間学研究会会員様特別価格)

通常価格:180,000円

スポット参加料金

世に棲む日日…90,000円(全3回)

国盗り物語……90,000円(全3回)

※料金・すべて税込

お申込み書 FAX:022-722-1770

セミナーコード:28033

会社名		ご参加者名	
TEL		ご参加者名	
☒ をつけてご回答ください		受講方法選択	音源受取方法選択
☐ 全6回参加	☐ スポット参加	☐ 会場・ ☐ CD・ ☐ MP3	☐ CD・ ☐ MP3
☐ 世に棲む日日(全3回)		☐ 国盗り物語(全3回)	